

とやまファン倶楽部

会報 No.39

2025



CONTENTS

リレーエッセイ 37 / 石田 晋太郎	2P
第28回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
会員交流広場	4P
第42回「とやま賞」	5P
「夢の卵」育成事業、みらいの起業家マインド育成塾	6P
富山県からのお知らせ	7P

「富山ちゃ、なーんもないちゃ」

石田 晋太郎 さん



プロフィール

1978年富山市生まれ
小中高12年の内8年を海外で過ごす。
総合商社、食品メーカーを経て、現在ウニノミクス株式会社代表取締役社長。
ウニの異常増殖により海藻が食い荒らされ砂漠化してしまう「磯焼け」問題対策として、磯焼け地域の身入りが不十分なウニを陸上で畜養して販売する事業を展開中。



南砺市五箇山地域の合掌集落にて

場所が富山だった。当時の祖母の家は富山市内であったが、当時は雪かきで雪が集まっていたところに横から穴を掘るだけで「かまくら」を作れたり、夏は田んぼのあぜ道を通ったり川で遊んだり、富山の日常が本当に新鮮だった。そしてこんな素敵な場所をたくさんの人に伝えたいと小学校のころから思っていた。

中学で海外のインターナショナルスクールに行くこと、むしろ周りの人達こそ自分たちの出身地を積極的に語っていた。更にフランス、イタリア、スペインなどに行くことと自分の土地に対するプライドが特に強く、自分の土地のおすすめメニューや、酒、それをはぐくんだ環境について30分くらい語れるのは当たり前。自分も日本や富山について語れないといけないという意識を強くした。

だが富山のことに富山のことを聞くと、返ってくる答えは決まって「なーんもないちゃ」。本当は大抵の人が水も魚も米も富山が一番だと思っていて、「東京で魚を食べない」などと内心思っているのに人には言わない。ただ富山の人が特に奥ゆかしいのかというと、必ずしもそうではなく、むしろ日本人が自分の文化について語れないもしくは関心が薄いと美

感ぜざるを得ない場面が多くある。その最たる例として例えば東京で高級とされている和食店において、ワインリストがあつてソムリエがいるものの日本酒・焼酎については説明さえできないことが少なくない。更には日本のフラッグキャリア2社の国際線においても同様であることからかなり深刻な状況である。これだけインバウンドが盛り上がりつつある中であまりにももったいない。

雑誌で富山の広告を出したとして購買行動や旅行にという行動につながるの1%を下回るだろうが、人から直接接しただけ数倍になるはずである。これが知人の紹介であつたりすれば10%以上になるかもしれない。私は若手県人会の代表を引き受けた3年間で、「会員一人一人を観光大使にする」を目標にして活動を行った。毎年敢えて一つの市や町のみをフィーチャーし、観光地、酒蔵、飲食店等を回る1泊2日のツアーを開催したところ好評でリピート希望者が多く出た。一方である年の130人参加者を集めた



「ささら」と「こきりこ」体験
富山県は国指定の伝統工芸品が6

つ（漆器、銅器、和紙、彫刻、菅笠、木地挽物）あり、織物や焼物も誇るべきものがある。更に世界遺産の集落や国宝の寺、アニメ、海と山とその恵みの食までもが狭い地域に詰まっている。日本酒も東部は端麗辛口を得意とする越後杜氏、西部は濃醇を特徴とする能登杜氏の流れを汲む酒蔵があり、色々な食事とのマリッジを楽しめる味わいが県内酒蔵から得られる。故に外国人が「日本」を求めるものほぼすべてが富山にあると言えるのではないだろうか。実際私は来日した友人スペイン人夫妻の2週間のハネムーン日程から半ば強引に2泊3日をもらい富山を案内したところ、東京も京都も広島も行ったのに富山が一番楽しかったと言ってくれた。実際夫婦が作った日本旅行ビデオをYouTubeで見たところ、半分は富山だった。

日本に来た旅行者は富山県だけに1週間滞在しても退屈することなく、むしろ混雑もない中で日本を深く理解する経験を提供できる私は信じている。富山県人ととやまファン倶楽部メンバーには是非自信を持って言ってもらいたい。「富山ちゃ、でかいとあるちゃ」。

TOYAMA FAN CLUB

第28回 とやまファン倶楽部 会員交流会

開会挨拶



大田代表世話人

知事挨拶



新田知事

乾杯



武田県議会議長

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が令和7年7月16日（水）、ホテルパール麹町（東京）で約100名の会員の皆様の参加のもと、盛大に開催されました。

交流会では、新入会員6名の方を紹介するとともに、日本橋とやま館及びいきいき富山館のPR、日本橋とやま館の食事券や商品券、富山米品種「富富富」と富山の名水セットが当たるお楽しみ抽選会が行われました。

また、とやま和牛酒粕育ちのステーキや「富富富」握り寿司の実演コーナーをはじめ、富山の新鮮な食材を使った料理や地酒、県産ワインを用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、終始和やかに皆様の話の輪が広がりました。



会場の様子



新入会員の皆様紹介



日本橋とやま館、いきいき富山館PR



お楽しみ抽選会





当財団では、富山県の置県百年(昭和58年)を記念して富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的で「とやま賞」を創設し、昭和59年の第1回から今回で42回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者で、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

令和7年度の贈呈式は、5月19日(月)に富山市のパレブラン高志会館で行われ、学術研究部門で5名の方々が受賞されました。

第42回受賞者

学術研究部門 医薬・生命科学分野(免疫学)

東京理科大学 生命医科学研究所 分子病態部門 助教

室 龍之介 氏

「炎症性γδT細胞の分化を促進する分子メカニズムの解明」



学術研究部門 医薬・生命科学分野(消化器病学)

Helmholtz Zentrum München, Institute of Metabolism and Cell Death ポストドクター

山田 直也 氏

「フェロトーシスを標的とした難病克服とがん治療の革新への取り組み」



学術研究部門 理工分野(化学)

東京大学総括プロジェクト機構「革新分子技術」総括寄付講座 特任准教授

中室 貴幸 氏

「分子動態の電顕映像解析による化学の新境地」



文化・芸術部門 (舞踊)

(有)ジャンクション

中川 賢 氏

「舞踊家・振付家として革新的作品の舞台表現者として第一線で活躍し、今後の舞台芸術を担う」



スポーツ部門 (バスケットボール)

B.LEAGUE 長崎ヴェルカ

馬場 雄大 氏

「秀でた競技内容・成績」



石塚選考委員長より選考経過報告



新田知事より贈呈



受賞記念講演

会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部を紹介～

令和7年度の会員交流会(7月16日(水)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ「とやまファン倶楽部会員交流コーナー」(<https://www.t-hito.or.jp/zaidan/jinzai/fan/05x.html>)に掲載させていただいております。

昨年暮、久し振りに帰郷して、晴天にも恵まれ、立山連峰の景観を目の当りにできました。

とくに氷見海岸からの対岸に遠くそびえる連峰は壮観で、世界に類をみない圧巻だと思います。

立山、広い平野、海(富山湾)、どこを見ても他県にない観光資源である。どのようなガイドを作り、線で結ぶか知恵をしぼるべきです。平野では、特色ある作物、菓子、果物、新しい工場見学、古くて著名な工場を輝かせてください。

富山県には素晴らしいものがたくさんあります。お水、お米、お酒、そしてそれを作り上げる自然。

しかし、それらよりもっともっと素晴らしいのは、富山県に住んでおられる人々です。

私はいつもそう思っております。

新幹線のお陰で、何か用事があればすぐに富山県(氷見・高岡)に出掛けます。本当に近く感じます。雨晴の景色が大好きです。

ニューヨークタイムズにのった事は「空前絶後」!! この機会を生かし、大いに内外に強引にPR作戦を展開し、「日本一の富山」を宣伝すること。であります!!

地元富山を熱く盛り上げているプロバスケットボールチーム、富山グラウジーズ。

B1昇格を果たし、彼らの活躍は、大きな活気と感動を与えてくれています。

この活気を原動力に、私も共に富山を盛り上げていきたいと思っています。

人生100年時代です。緑豊かな富山平野で、アルプスや日本海に接して育ったことで、高齢になっても元気で過せます。

立山の雄姿、雪の大谷、シロエビ、ブリ……。約1年の滞在でしたが、思い出深い地です。またゆっくり訪れたい。

義母の三回忌が金沢でありましたが、息子と差して二人で富山の飲み屋で飲みました。富山の地酒と刺し身で……。息子が就職して以来20年ぶりでした。感無量でした。帰りに富山のお米をどっさり持たせてやりました。(笑)

NYタイムズ「世界の行くべき旅先」で富山市が選ばれたと聞き嬉しく思いました。今後も、インバウンドの増加、国際都市を目指し、魅力的な施策を期待しています。

今年も暑い夏がやってきます。世界で最も美しい湾---有磯海から望むアルプス。立山連峰を思い出すと、冷気が心の中に入り、明日への勇気が増します。

毎年、富山黒部マラソンに参加させていただいています。富山の風景、食は素晴らしく、引き続き発信したいと思います。

毎年、富山黒部マラソンに参加させていただいています。富山の風景、食は素晴らしく、引き続き発信したいと思います。

能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞申しあげます。

1日も早く平穏な生活が取り戻せる事を願っております。



「とやまファン倶楽部」新入会員ご紹介のお願い

当倶楽部では、会員ネットワークのさらなる拡充を目指し、会員の皆様に新入会員のご紹介をお願いしております。富山県外在住で、とやまを愛し、応援して下さる方がいらっしゃいましたら、是非、事務局までご紹介ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

連絡先：(公財)富山県ひとづくり財団 とやまファン倶楽部事務局
(☎076-444-2000、E-mail:n.kato@t-hito.or.jp)



富山県からのお知らせ

成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」開催! ぜひご参加ください

しあわせる。富山
豊かさを創る。未来を拓く。富山県成長戦略の推進。

富山県成長戦略ビジョン「幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山〜」の実現に向け、県内外の方が集い議論を深めることで、多様な人材の連携を創出し、新たなプロジェクトにつなげるため、富山県成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」を毎年開催しています。

今年度は令和8年3月21日(土)、22日(日)の2日間、滑川市で開催します!
ぜひご参加ください! (参加申込は特設サイトにて改めてご案内いたします。)

2024年度「しあわせる。富山」
(射水市開催)の様子

「幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山〜」の実現に向けた好循環を創出

1.ウェルビーイングの向上

戦略の6つの柱

- ① ウェルビーイング戦略
- ② まちづくり戦略
- ③ ブランディング戦略
- ④ 新産業戦略
- ⑤ スタートアップ支援戦略
- ⑥ 県庁オープン化戦略

2.人材の出入り活性化

3.経済成長

「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築

「しあわせる。富山」特設サイト
アーカイブ・動画・記事
配信中!

2026年3月21日(土)〜22日(日)
会場 富山県滑川市(中環町総合体育館2F)

ウェルビーイング発信中!

富山県では、政策の中心に「ウェルビーイング」を掲げ、様々な取組みを進めています。

ウェルビーイングとは?

心も身体も、社会とのつながりも良い状態で、自分らしく、いきいきと生きることが出来る一人ひとりの「幸せの実感」などを表す言葉です。

特設サイト「わたしの、みんなのウェルビーイング・アクション!」では、様々な参加型コンテンツを掲載しています。

ウェルビーイング・チェック!

設問に回答することで、ご自身のウェルビーイングの状態を花の形で表現!(グループ・団体でも利用できます。)ゲームもあります!

ウェルビーイングを身近に感じよう!

- ・しあわせる。100のたね/ウェルビダンス/しあわせのカギ
皆さんの取組みやダンス動画、身近なアクション等を紹介中
- ・ウェルビーイング・コミュニティとやま
無料オンラインコミュニティで交流できます
- ・ウェルビーイングの絵本「タケシのせかい」
富山県ゆかりの作家 室井滋さんが手掛けた絵本

特設サイトはこちら

お問い合わせ
知事政策局企画室ウェルビーイング推進課
TEL:076-444-8493
E-mail: akikaku@pref.toyama.lg.jp

サイトでは「幸せの森の妖精」にも会えます!

「ウェルビーイング・チェック」ゲーム

「富山で働こう」キャンペーン

富山県では11月より首都圏を中心に県外で働く若者を主な対象として、就職先としての県内企業や富山で働き暮らすことの魅力等を伝えとともに、富山で働くことを勧めるキャンペーンを始動しました!

県内企業の魅力はもとより、富山で働き暮らすことについてイメージしてもらえる動画の配信、SNSを用いた広報やポスター・チラシの掲出等、首都圏の主要駅におけるPRイベント等を順次実施しています。

PR動画を、キャンペーン特設ページや「就活ラインとやま」公式YouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。

<県企業情報サイト「就活ラインとやま」>

県では当該サイトを通じて、県内企業の魅力や就職支援イベントの情報を皆さんにお届けしています。ぜひ一度、当サイトをご覧ください!

「富山で働こう」キャンペーン
特設ページ

お問い合わせ:
商工労働部多様な人材活躍推進室
人材確保推進課
TEL:076-444-4558

みつかる、つながる、かなえる
就活ラインとやま

「夢の卵」育成事業



この事業では、「将来こんな職業に就きたい」という「夢の卵(将来の夢)」を作文にしてもらい、優秀作品を表彰して、その道の専門家のもとへ派遣しています。

令和7年度で21回を数え、小学生の部と中学生の部をあわせて916作品の応募があり、その中から選ばれた4名の子どもたちに夏休み期間中、夢に一步近づいてもらうために、短期入門してもらいました。



小学生の部 (応募数340作品)

入門内容

生産と環境の持続可能な農業を行うハイテク米農家になりたい
小竹 源真さん (高岡市立高陵小学校5年)

米農家の担い手不足に注目し、AIロボット利用による生産の持続や、農業を減らした農業を行う米農家になりたいとスマート農業普及センターに入門。スマート農業に関する講義やスマート農機の見学と体験を行いました。



スマート農業についての講義



ロボット田植え機の試乗

入門内容

歴史を守る宮大工になりたい
塚口 あかりさん (小矢部市立石動小学校5年)

歴史的建造物の建物だけでなくその歴史を知り、過去を未来につなげたいという思いから宮大工になりたいと舟木工匠に入門。神社増築現場と勝興寺の見学、宮大工と文化財修理について学び、木材加工体験をしました。



神社増築現場の見学・宮大工の仕事についての説明



木材加工体験

中学生の部 (応募数576作品)

入門内容

動物に役立てる人になりたい
真野 来実さん (射水市立小杉中学校1年)

自身の体験から、動物の思っていることがわかる翻訳アプリを開発し、動物の医療や飼い主の手助けをしたいと千葉大学文学部に入門。動物心理学についての講義や行動分析の実習と実験を行いました。



動物心理学についての講義



行動分析の結果を集計

入門内容

誰かの未来のために尽くせる地震学者になりたい
田邊 花妃さん (射水市立射北中学校1年)

能登半島地震の経験から人のために何が出来るかを具体的に考え、地震学者となって安心して過ごせる世界を作りたいと名古屋大学減災連携研究センターに入門。減災館の見学や地震について深く学びました。



地震についての講義



減災館の見学

「みらいの起業家マインド」育成塾



この事業では、社会の変革期に、失敗を恐れず自分で考え行動する「生きる力」を養うためのワークショップを開催しており、4回目となる今年度は、令和7年8月5日(火)に開催し、小学6年生〜中学2年生までの子どもたちが参加しました。

ワークショップでは、カードゲームを使って、社会や経済・お金の仕組みを楽しく学ぶことで、今までにないアイデアで新しい仕事を生み出し、チームで協力しながら問題を解決することを体験し、他者と協働しながら新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために必要な力を育みました。

経済のしくみを知ろう
経済・お金のしくみをカードゲームを使って楽しく学びます。

自分の長所を見つけよう
自分がまだ気づいていない長所や特長を見つけます。

みらいをつくるヒントをつかもう
よりよい社会との関わり方を、普段会えないような職種の方や大学生と一緒に考えます。



問合先

■事務局

公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000 / FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <https://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html>



■連絡所

富山県知事政策局総合政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL076-444-4494 / FAX076-444-3473

富山県首都圏本部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030 / FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館2階

TEL06-6445-2811 / FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階

TEL052-261-4237 / FAX052-263-7308

賛助会員の募集

ひとづくり財団からのお知らせ

(公財)富山県ひとづくり財団では、学校教育との連携を図りながら元気で創造性豊かな子どもの育成をはじめ、明日の富山県を拓くひとづくりの事業に鋭意取り組んでおります。これらの趣旨にご理解いただき、ご支援、ご協力いただける賛助会員を下記のとおり募集しております。

多くの皆様のご賛同、ご入会をよろしくお願いいたします。



■年会費：法人会員 年一口 30,000円

個人会員 年一口 3,000円

■特典：機関誌の配布、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布

■申込方法：入会いただける方は、財団へご連絡ください。

(☎076-444-2000、E-mail:toyama@t-hito.or.jp)